



2月ほけんだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年2月1日 下小田中保育園

冬の寒さが続き、川崎市内では感染性胃腸炎や溶連菌感染症、インフルエンザ、新型コロナ感染症などが例年並みに流行しているようです。下小田中保育園でも手洗いや換気などに気を付けて、感染症対策を継続して行っています。

1. 肌、カサついてませんか？

冬は空気がかなり乾燥しています。着替えの時にかきむしめたキズのあるお子さんも見られます。子どもの皮膚の表皮は未熟で薄いため、バリア機能が弱く常に乾燥しています。また、水分を保護する皮脂が極端に少なく、大人の1/2~1/3程度しかありません。

泡石鹼や保湿剤、入浴剤などを使用して対策なさっているご家庭もあります。バランスの取れた食事、衣服の選び方もポイントになります。裏起毛では静電気が発生さらに乾燥しますので、子どもの皮膚に直接触れる肌着は綿をおすすめします。

かゆみは我慢できません。搔き壊してしまうと、とびひになるおそれもありますので、かゆみが続く場合は皮膚科を受診してくださるようお願いします。

2. 手はきれいに洗っていますか？

泡石鹼を手や指にこすらずに、すぐ水に流してしまうお子さんが多くみられます。

正しい手の洗い方を聞いてみたところ、みんな正しい答えが…。わかっているけど遊びに夢中で出来ないこともあるようです。また、手の水分をきちんと拭き取らずに乾燥させてしまうと、ひび・あかぎれの原因にもなります。保育の中で子どもたちに泡石鹼の使い方や手の拭き方を繰り返し伝えていきます。



3. 爪、伸びていませんか？



手の爪には、物をつかんだり、指先を保護する役割があります。また、足の爪には歩く時にも大切な働きをしています。しかし、爪が伸びたままだとその役割もうまく機能しません。

子どもの爪は薄くて割れやすいため傷付きやすい状態です。爪が途中ではがれて、自分がケガをすることもあります。また、意思の疎通がうまくいかず、お友だちをひっかいてしまい、怪我をさせてしまう場面も…。

自分のためにも、お友だちのためにも深爪に注意しながら、ご自宅で爪きりをお願いします。できれば、切り残しやとがった部分が無いか、最後にやすりで丸く滑らかにかけてほしいです。

★令和8年度から予防接種と園医健診結果の共有を変更します★

【予防接種】

- ・コドモンのアンケート機能を使用してお知らせいただくようになります。

※詳しくは懇談会等でお知らせしていきます。

【園医健診結果】

- ・所見のあった場合にはコドモン（連絡帳など）でお知らせします。

※ご不明な点はいつでも高橋までお問い合わせください。

イラスト出典：メイト